

SRIハイブリッド(株) 加古川工場

環境保全対策実施報告書

平成20年度(平成20年4月～平成21年3月)に実施致しました環境保全対策、及び平成21年度(平成21年4月～平成22年3月)の環境保全活動計画は、次の通りです。

1. 公害防止対策実施状況(平成20年度)

(1) 大気汚染防止対策

① 推進の内容

- ア. 防舷材製造ラインにおいて、2品種同時加硫の改善等を行い蒸気使用量の削減が出来ました。
- イ. ボイラー給水(井戸水)のスケール性成分を逆浸透膜処理で除去することにより、ボイラーブロー量が減少し、ボイラー効率が上がりました。(写真①)

② 実施の成果

ア. 平成20年度

原油換算エネルギー総使用量が 623 k1/年 減少しました。(対前年比11.1%減少)
(対前年比14.5%生産量減少で、原油原単位は対前年比103.1%)

※原単位：単位生産量当たりのエネルギー使用量

(2) 騒音振動防止対策

① 推進の内容

工場敷地境界における騒音は規制値内にありますが、更なる騒音の低減を図るため、次の対策を実施しました。

- ア. フォークリフトでの荷物運搬中に舗装面破損部で跳ねて騒音を発生していたため、構内道路の部分更新360㎡を実施致しました。
 - イ. 保安員による工場周辺日常パトロールを実施し、騒音管理の強化に努めました。
- ※ 騒音測定地点は、添付資料をご参照ください。

② 実施の成果

騒音の低減と安定維持が図れました。

(3) 悪臭対策

① 推進内容

ア. テニスボール生産の海外移管により原材料に一部含まれているアンモニアの使用が無くなりました。

② 実施の成果

悪臭の低減と安定維持が図れました。

(4) 緑化対策

① 推進内容

ア. 第1工場藤棚下でどんぐりを育成中です。(種蒔数 約2200ヶ)

イ. 第2工場芝生周辺にツツジを150本植樹を実施。(写真②)

ウ. 第2工場物流事務所屋上緑化を実施。(約25m²) (写真③)

② 実施の成果

緑化環境の維持・向上が図れました。

(5) 地域連絡会等

ア. 平成20年5月25日に加古川市アダプトプログラム(東加古川駅前清掃)に参加しました。

イ. 例年通り「トライやるウィーク」では、平成20年6月9日～13日に陵南中学校から6名の2年生を受け入れ、工場の業務について、理解を深めて頂きました。

ウ. 平成20年8月2日に加古川市民レガッタ大会にボランティアとして参加いたしました。

エ. 平成20年10月5日に野口小学校5年生46名に対して5名がKYTの講師を行いました。

オ. 平成20年11月8日に加古川ツデーマーチにボランティアとして参加いたしました。

(6) その他

① 推進内容

ア. 平成20年2月に第1工場排水再利用装置を導入、3月中旬より稼働開始しました

② 実施の成果

下水道排水量の大幅削減(約半減)を図ることが出来ました。

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値)

項目		協定値	実績値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /H)	0.7	0.47
	(t/年)	8.6	2.99

※ 四捨五入

3. 環境保全活動

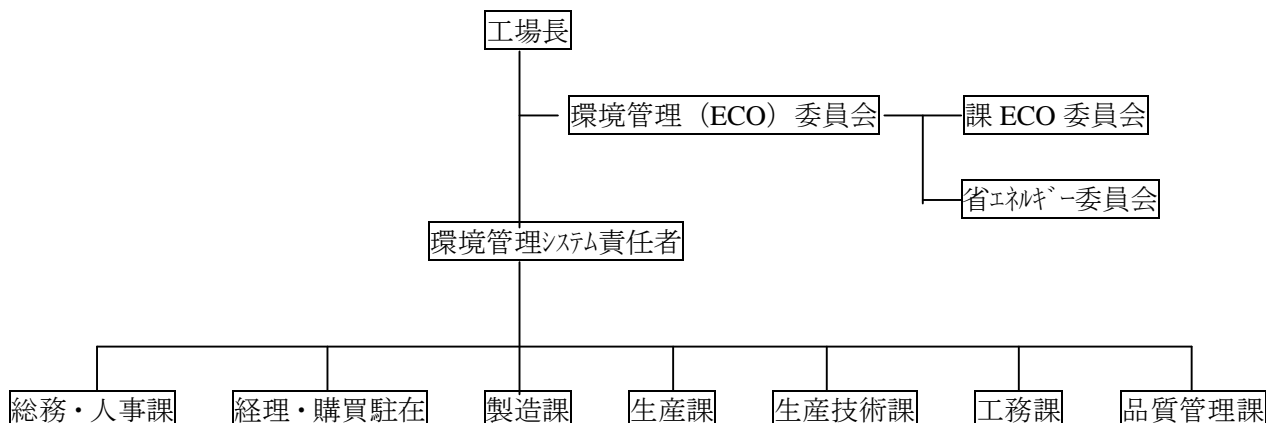
(1) 基本方針

「環境に優しい企業活動で、地球の未来を守ります」

近年、環境問題は従来の地域社会的な問題から、地球規模という空間的な広がり、将来の世代にもわたる時間的な広がりを持つ問題となってきました。地球環境の保全は国際社会が共同で取り組むべき人類の課題であり、持続可能で環境負荷の少ない経済社会を構築していくことが重要であるとの認識のもとに住友ゴムグループのSRIハイブリッド(株)加古川工場は、社会に信頼される企業の基本的な責務として、全ての事業活動と企業市民としての生活を通して、総合的、創造的に地球環境の保全に取り組みます。

～SRIハイブリッド加古川工場 環境方針 抜粋～

(2) 組織体制



(3) 平成21年度の環境保全活動計画

① 化学物質対策

1) 取り外した PCB 機器の適正保管を行い、化学物質の漏洩防止に努めます。

② エネルギー対策(地球温暖化防止対策)

1) 燃料使用効率の更なる向上を目的として次の計画を実施します。

- ・各製品、各工程の生産性を向上させることにより、蒸気原単位の改善を実施します。
- ・保温の強化拡充、及び、バルブ・トラップ・配管等の漏れ点検の強化を行います。
- ・各工程における高負荷運転のヒートポンプ式空調機11台の室外機に冷媒凝縮促進機構付コンデンサーを追設し、効率を20~30%上げ消費電力 8500kwh/月 を軽減します。

③ 廃棄物対策

1) 廃棄物発生量及び埋立量の削減に努め、20年度に引き続きゼロエミッションを継続します。

④ 騒音防止対策

1) 騒音発生源対策及び保安員による工場周辺パトロールの継続

⑤ 緑化対策

1) 第1工場藤棚下でどんぐりを育成中です。(種蒔数 約1000ヶ)

⑥ 悪臭対策

定期測定時にパトロールを実施し、日常管理の強化に努めます。

又、発生源対策として溶剤系材料の使用量削減と水系化の取組み転換を進めます。

⑦ 土壌汚染対策

揚水の浄化処理を継続致します。また、定期測定結果を市環境政策課殿へ報告継続致します。

⑧ 環境マネジメントシステム

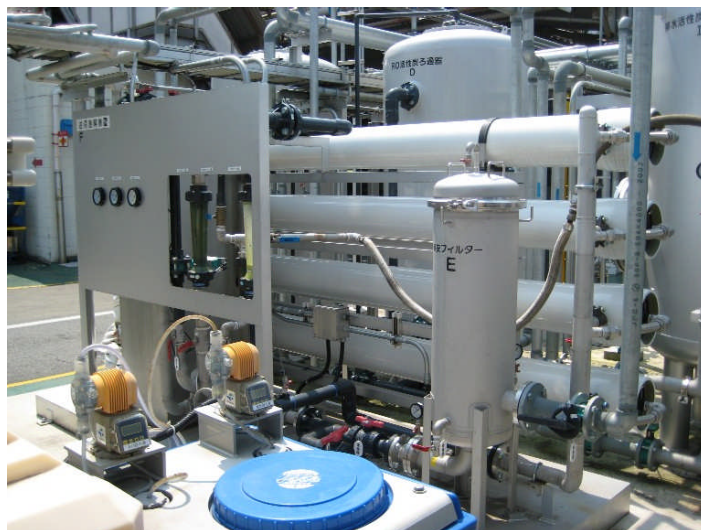
ISO14001環境マネジメントシステムの運用により、環境面での継続的改善を図っていきます。

⑨ 地域社会への参画

ア. 例年通り「トライやるウィーク」による陵南中学校生徒4名を受け入れ、工場の業務について、理解を深めて頂く予定です。

イ. 工業団地内の清掃活動を定期的に行います。

写真① ボイラー給水スケール成分逆浸透膜処理装置



写真② 第2工場芝生周辺にツツジ植樹



写真③ 第2工場物流事務所屋上緑化



添付資料： 工場配置図 及び 騒音測定場所

